ISSN 1342-4025

福井県環境科学センター年報

第 29 巻
1 9 9 9
(平成11年度)

Annual Report
of
Environmental Research Centre
of Fukui Prefecture
vol.29
1999

福井県環境科学センター

1　大気汚染常時監視調査結果(月間値)
　http://www.erc.pref.fukui.jp/sogo/h121/
2　公共用水域水質常時監視調査結果(月間値)
　http://www.erc.pref.fukui.jp/sogo.h122/
3　酸性雨調査結果(測定値)
　http://www.erc.pref.fukui.jp/sogo/h123/
4　環境科学センター年報のバックナンバー
　http://www.erc.pref.fukui.jp/sogo/d101/

はじめに

この年報は、当センターの平成11年度における業務内容と調査研究の概要を取りまとめ、年報第29巻として発刊したものです。ご高覧いただき、ご指導ご助言を賜れば幸いに存じます。

本県における環境の状況は、大気、水質等ともに環境基準をおおむね達成しており、全般的に良好な環境が維持されております。しかしながら、北潟湖、三方五湖の湖沼や都市部の中小河川の水質汚濁、地下水の汚染、自動車の交通公害等の地域社会的な環境問題を抱えております。

ダイオキシン類、環境ホルモンなど化学物質による環境汚染について調査を行った結果、ダイオキシン類の大気環境については、県内５地点ですでに環境基準を達成していました。ノニルフェノールやビスフェノールＡなど環境ホルモン４物質については、河川20地点でいずれも10年度と同様な検出濃度範囲内でありました。

身近な廃棄物対策から地球温暖化などの地球環境問題まで、今日のさまざまな環境問題は大量生産、大量消費、大量廃棄という社会経済システムや私たちのライフスタイルのあり方に深く関わっております。このため、社会全体のあり方を見直し、環境への負荷が少ない「循環型の社会」を築いていくことが求められております。

国では、平成12年6月に「循環型社会形成推進基本法」を制定して、生産から流通、消費、廃棄にいたるまで各段階で、資源やエネルギーの効率的な利用や循環利用を進め、環境への負荷ができるだけ少ない循環型社会を目指しています。

県では、今年3月に地球温暖化の防止に向けての取り組みとして、「地球温暖化対策地域推進計画」を策定したところです。また、4月から県庁環境マネジメントシステムを運用して、省エネや資源のリサイクルなど具体的な取り組みを行っております。

私たち一人ひとりにとって、できることは小さいことかもしれませんが、家庭や職場において、環境への負荷を少なくする取り組みを積み重ねていくことが、とても大事であると思っております。

当センターでは、大気や水質等の環境の常時監視はもとより、有害大気汚染物質調査、湖沼の富栄養化等の調査研究に鋭意取り組んでおります。

環境情報総合処理システムも今年3月から運用開始したところです。「みどりネット」を通じて皆様に提供しており、ご利用いただければ幸いです。

これからも私たち環境科学センターは、技術分野から貢献していきたいと考えております。

どうぞ、当センターに対して皆様の一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成12年12月

福井県環境科学センター

所長　宮　永　信　幸

目　次

Ⅰ　運　営　概　要

1　組織と研究体制

1. 1　沿　　革 …… 1
1. 2　事業方針 …… 2
1. 3　組　　織 …… 3
1. 3. 1　組織と業務内容 …… 3
1. 3. 2　人　　員 …… 3
1. 3. 3　業務分担 …… 4
1. 3. 4　人事記録 …… 4
1. 4　予　　算 …… 5
1. 5　施設の整備状況 …… 6
1. 5. 1　平成11年度新規購入備品 …… 6
1. 5. 2　主な備品整備状況 …… 6

2　平成11年度業務内容

2. 1　大気汚染防止対策関係 …… 7
2. 1. 1　テレメータ常時監視事業 …… 7
2. 1. 2　有害大気汚染物質監視事業 …… 9
2. 1. 3　簡易測定 …… 9
2. 1. 4　酸性雨監視調査事業 …… 9
2. 1. 5　環境影響評価審査事業 …… 10
2. 1. 6　煙道行政検査 …… 10
2. 1. 7　工場立入検査指導事業 …… 10
2. 2　水質汚濁防止対策関係 …… 10
2. 2. 1　公共用水域常時監視調査 …… 10
2. 2. 2　海水浴場水質調査 …… 11
2. 2. 3　水域類型指定調査 …… 11
2. 2. 4　工場排水取締強化事業 …… 11
2. 2. 5　地下水監視調査 …… 11
2. 2. 6　化学物質環境汚染実態調査 …… 12
2. 2. 7　公共用水域補完調査　―ゴルフ場農薬水質調査― …… 13
2. 2. 8　湖沼水質保全対策事業 …… 13
2. 2. 9　アオコ対策技術の研究（新規事業） …… 14
2. 2.10　公共用水域における魚類のへい死調査 …… 14
2. 3　騒音・振動防止対策事業 …… 14
2. 4　悪臭防止対策事業 …… 15
2. 5　環境情報総合処理システム開発事業（新規事業） …… 15
2. 5. 1　主な機能 …… 15
2. 5. 2　データベース化した情報 …… 16
2. 5. 3　利用方法 …… 16

2. 6 指導・研修等 …… 16
2. 6. 1 研修の受入れ …… 16
2. 6. 2 研修会 …… 17
2. 6. 3 環境教育 …… 17
2. 6. 4 講師派遣 …… 18
2. 6. 5 施設見学・環境情報コーナー利用 …… 18
2. 6. 6 '99越前・若狭の産業フェア出展 …… 19
2. 6. 7 '99北陸技術交流・テクノフェア出展 …… 19
2. 6. 8 鯖江市「環境とくらし'99」出展 …… 19
2. 6. 9 学会等への参加 …… 19
2. 6.10 研修への参加 …… 20
2. 7 学会・誌上発表等 …… 20
2. 7. 1 学会発表 …… 20
2. 7. 2 誌上発表 …… 21
2. 7. 3 所内研究発表会 …… 22

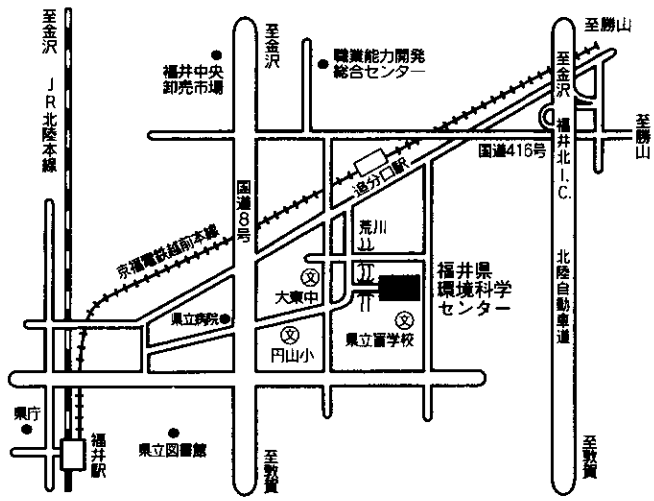
II 調査調査研究報告

1 調査研究
1．環境情報の地図化手法の検討について（第3報）…… 23
—Windows表示プログラムのCD-ROM化について—
2．コンピューター通信による環境情報の提供（第8報）…… 29
—大気汚染情報提供機能の強化—
3．環境影響評価の実施に必要な情報の体系的整備に関する研究（第2報）…… 34
—NO_2変換モデルの適合性等について—
4．水流機によるアオコの拡散･発生抑制試験（第1報）…… 46
5．超音波･オゾン発生装置によるアオコの除去･増殖抑制試験（第1報）…… 52
2 ノート
1．降水試料捕集法の違いによる酸性雨調査結果の比較 …… 60
2．有害大気汚染物質（VOCs）濃度について …… 65
3．福井県における大気汚染常時監視測定局の適正配置について …… 72
4．環境情報総合処理システムの構築 …… 77
5．大気環境測定車「みどり号」による沿道環境調査結果について（第2報）…… 83
6．陸水環境に及ぼす酸性雨の影響に関する研究（第3報）…… 94
7．公共用水域における要監視項目調査について …… 99
8．北潟湖におけるヒシ（*Trapa* sp.）の水質への影響に関する研究 …… 103
9．エネルギー発生･利用に伴う環境負荷低減の動向調査に参加して（第3報）…… 107

III 運営資料

1 大気汚染常時監視調査関係資料 …… 113
2 大気汚染調査関係資料 …… 125
3 水質汚濁調査関係資料 …… 131
4 環境科学センターの主な業務の変遷 …… 137

今年度より、大気汚染常時監視の月間値、大気汚染調査結果、公共用水域常時監視結果については、紙面掲載を省略し、福井県環境科学センターのホームページ「みどりネット」(http://www.erc.pref.fukui.jp/)内の環境情報データベースに収録することにしました。



〈交通〉

●京福バス約15分（福井駅前から盲学校方面行き盲学校前下車すぐ）
●京福電鉄約10分（福井駅から勝山行き追分口駅下車徒歩10分）
●福井駅から車で約10分（約4Km）
●北陸自動車道福井北I.Cから車で約10分（約4Km）

福井県環境科学センター年報

第29巻●1999（平成11年度）

発行所　福井県環境科学センター

〒910-8551 福井市原目町39-4
URL http://www.erc.pref.fukui.jp/
E-mail erc@erc.pref.fukui.jp
TEL・FAX 0776（54）5630